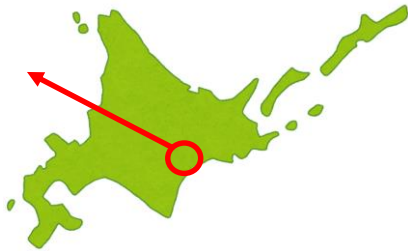


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(29年度:計画作成主体:浦幌町地域農業再生協議会)(北海道)

取組の概要

- 対象品目 : 小麦(産地面積75.13 ha)
 主な取組主体 : 十勝うらほろ栄穂農場
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 基準(H28年度) 21,726円/10a
 目標(R元年度) 24,062円/10a
 導入施設等 : 生産支援事業(機械リース)
 (コンビネーションドリル 1台等)

北海道
浦幌町
栄穂地区



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

浦幌町栄穂地区は、後継者不在の高齢農業者や離農者の代わりに若手農業者が作業受託等を行い、地域農業の維持に取り組んでいるが、個々の作業面積増加による作業効率の悪化により、収量・品質の低下が問題となっている。このため、複数農家による法人を設立し、作業の集約による作業効率化に取組み、適期作業及び適切な輪作体系の実施による収量・品質の向上を図り販売額の増加を目指すとともに、作業効率化により生じた、余剰労働力を生かし、新たな作業受託を行い、産地の生産基盤強化に資する。

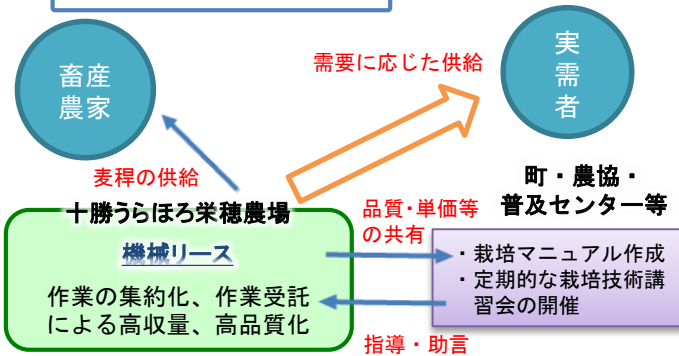
また、供給量が不足している麦かん供給体制を構築し、供給量(年間451個)及び販売額の増加に取り組む。

【産地の体質強化に向けた方策】

小麦播種作業機械のリース導入により

- ① 高齢化・過疎化による耕作放棄地への対応
- ② 地域生産基盤強化を目的とした適期作業による小麦の収量増加及び麦かん供給強化

産地体制



地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・浦幌町・浦幌町農業協同組合・関係機関が連携し、町内初の畑作複数戸法人を設立
- ・「農業生産法人設立事業」として、固定資産税及び農地賃貸借料の助成を行い、法人化を推進

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ① 小麦播種関連機器導入による収量品質向上効果
- ② 麦かん販売、作業受託の増加による所得増加効果

【事業実施による間接効果】

- ① 過疎化による労働力不足の解消
- ② 小麦耕作面積維持による地域生産基盤確立



販売額が141.42%増加
(達成率385.2%)

